

2020年6月17日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社
 (コード番号 3843:東証第一部)
 本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
 代 表 者 代表取締役社長 CEO 兼 CTO 石田 宏 樹
 問 合 せ 先 執行役員グループ経営管理本部長 和田 育 子
 電 話 番 号 03-5459-0522 (代 表)
 (URL <https://freebit.com/>)

通期連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2020年3月13日に公表した2020年4月期(2019年5月1日～2020年4月30日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正するとともに、2020年4月期において、特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2020年4月期通期連結業績予想の修正(2019年5月1日～2020年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 55,000	百万円 2,400	百万円 2,300	百万円 400	円 銭 18.02
今回修正予想(B)	55,295	2,587	2,481	△619	△27.93
増減額(B-A)	295	187	181	△1,019	
増減率(%)	0.5	7.8	7.9	-	
(ご参考)前期実績(2019年4月期)	50,365	2,981	2,569	279	12.59

2. 修正の理由

2020年5月29日に公表した「2020年4月期決算発表日の変更及び新型コロナウイルス感染症の影響等に関するお知らせ」でご説明しておりました方針に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大による2020年4月期の当社グループ事業への影響に対する精査を行いました。

また、並行して、同感染症の第2波、第3波の発生及びウィズコロナ(新常态時代)を視野に入れたBCP(事業継続計画)対応が不可欠との認識から、BCM(事業継続マネジメント)に則ったマネジメントプロセスによる検証も実行し、将来の当社グループの事業への影響も慎重に精査した結果、下記、特別損失を計上するとともに、業績予想の修正を行うことといたしました。

3. 特別損失の内容

① 不動産テック事業における固定資産の減損

当社連結子会社である株式会社ギガプライズにおいて、不動産事業を行う同社子会社の株式会社フォーメンバーズが、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、今後の事業計画を保守的に見直したことに伴い、同社に対して認識していたのれん及び固定資産の一部について、172百万円の減損損失を計上することといたしました。なお、株式会社フォーメンバーズは、企業体質及び業績改善に向け、直接運営店舗のフランチャイズ化も進めております。

② ヘルステック事業における営業権の減損

当社の介護事業者向けサービスにおいて、事業の進捗状況を踏まえた今後の見通しの精査を行った

ことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるシステム導入延期や営業活動の停滞等が続いていることを踏まえた結果、今後の事業計画を保守的に見直すこととし、同事業において 227 百万円ののれん等の減損損失を計上することといたしました。

③ エドテック事業における固定資産の減損

当社連結子会社である株式会社アルクが展開しているエドテック事業は、デジタル領域への事業転換の遅れに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いその収益性が大きく影響を受けている分野となっております。そのため、将来収益を見積もるにあたり、直近の事業動向及び当該事業に係る資産の回収可能額を算定するとともに、当該ウイルス感染症の影響が一定期間継続することを視野に入れたうえで精査を実施いたしました。

その結果、同社の保有する固定資産（ソフトウェア、のれん等）の帳簿価格との差額 752 百万円を減損損失として計上することといたしました。

④ エドテック事業におけるソフトウェア資産の減損

株式会社アルクが当社グループ入り前より ERP ソフトを活用した新システムの導入を進めておりましたが、上記③等の事業計画の見直しに伴い、同システムの導入を中止するとの経営判断を行ったため、ソフトウェア資産の減損損失等 157 百万円を計上することといたしました。

(注) 上記の業績予想の修正は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上